

# 「標榜診療科名の見直し」その2及び 医療広告に掲載できる事項

理 事 江 崎 俊 夫

標榜診療科名の見直しを先月の3月号で説明したが、4月1日から政令第36号や厚生労働省令第13号を施行するために、厚生労働省医政局長から平成20年3月31日「広告可能な診療科名の改正について」医政発第0331042号の通知があり、その改正を受けて厚生労働省医政局長から平成20年4月1日「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告し得る事項等及び広告適正化のための指導等に関する指針（医療広告ガイドライン）」医政発第0401040号の改定の通知があった。

それに伴って4月3日に日医白クマ通信 新着678「診療科名の標榜方法の見直し」が公開されたので、再度説明することにした。

## ※注意すべき事項

- 今回の見直しで標榜できない診療科名\*があるが、その診療科名を平成20年4月1日より前に標榜していれば、経過措置で引き続き標榜することができるので、看板や広告を付け換える必要はない。

しかし、経過措置が適用された診療科名でも、看板を取り替える場合や新たに広告し直す場合は、新しい診療科名で表示しなければならないので、診療科名の変更手続きの届出を都道府県知事（岐阜市では岐阜市保健所）及び岐阜社会保険事務局に提出する。

\* 呼吸器科、消化器科、胃腸科、循環器科、神経科、性病科、こう門科、気管食道科、皮膚泌尿器科

- 医療広告では「\*\*専門外来」と表示できないが、専門的な診療科名を標榜することで患者さんに専門内容を知らせることができるようになった。

## ※3月号の説明との相違点

1. 診療科名の組み合わせの表示形式。（後述）
2. 「医師が一人で勤務する医療機関は主たる診療科名を原則二つ以内とし、診療科名の広告には、主たる診療科名を大きく表示し、残りの診療科名と区別して表記することが望ましい。」と厚生労働省医政局長からの二つの医政発の通知に記載されている。

これに対して、白クマ通信 新着678では法令上の根拠や罰則はないので、標榜診療科の数に制限はないと忠告している。

3. 法令に根拠がないため、標榜できない診療科名

呼吸器科、消化器科、循環器科、女性科、老年科、化学療法科、疼痛緩和科、ペインクリニック科、糖尿病科、性感染症科などである。

## ※診療科名の組み合わせ

1. 単独で標榜できる診療科名（△△科：再掲）  
内科、外科、小児科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、産婦人科か“産科・婦人科”、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科か“放射線診断科・放射線治療科”、病理診断科、臨床検査科、救急科
- 注1. 単独で「内科」と広告した場合は、一般的な「内科」を意味している。
- 注2. 産婦人科か“産科・婦人科”について  
産婦人科の場合に、産婦人科又は、産科や婦人科を選択することを意味しているが、産婦人科と産科（又は婦人科）を同時に標榜はできない。放射線科も同様である。
- 注3. 診療科名のかな混じりの名称（耳鼻いんこう科）について

政令第36号や厚生労働省令第13号の新旧対象条文は、現行も改正後でも「耳鼻いんこう

科」と表示されているが、平成20年4月1日より前の医療広告や、施設基準の届出の保険医療機関名称は「耳鼻咽喉科」としてきた。

平成19年6月18日「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」医政総発第0618001号は、医師名（日本耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医）と医療広告できるとされた。

さらに、不適切な診療科名に関する項目で、「広告可能な診療科名」の通知では「耳鼻いんこう科」と記載されているが、「医療広告ガイドライン」の通知では「耳鼻咽喉科」と記載されている。

また、今回から標榜できない診療科名の「肛門科」は、条文では「こう門科」と記載されているが、下記の2のA区分(臓器や体の部位)の名称では「肛門」と記載されている。

医療広告に関する通知において診療科名や名称の統一はなされていないので、改正の条文で「耳鼻いんこう科」と記載されていても、今後も「耳鼻咽喉科」と表示できると考えられる。

## 2. 患者に分かりやすい適切な名称及び区分(〇〇：再掲)

A区分：臓器や体の部位。

頭部、頭頸部、頸部、胸部、腹部、脳、脳神経、神経、気管食道、呼吸器、気管、気管支、肺、消化器、食道、胃腸、十二指腸、小腸、大腸、肛門、循環器、心臓、心臓血管、血管、血液、乳腺、腎臓、肝臓、胆のう、膵臓、内分泌、代謝、脂質代謝

B区分：疾病や疾患の名称。

糖尿病、アレルギー疾患、感染症、性感染症、腫瘍、がん

C区分：対象とする患者の特性。

男性、女性、周産期、新生児、小児、児童、思春期、老人、老年、高齢者

D区分：医学的処置の名称。

整形、形成、美容、診療、漢方、薬物療法、化学療法、不妊治療、生殖医療、内視鏡、光学医療、ペインクリニック、疼痛緩和、緩和ケア、透析、人工透析、移植、骨髄移植、臓器移植

## 3. 組み合わせの表示形式

①「〇〇 △△科」と組み合わせる場合

表示例：「呼吸器内科」、「消化器外科」

②「△△科 (〇〇)」と組み合わせる場合

表示例：「内科 (循環器)」

③「〇〇・〇〇△△科」と組み合わせる場合

表示例：「糖尿病・代謝内科」、「肝臓・消化器外科」

## 4. 組み合わせの注意事項

①異なる区分の名称であれば、複数の名称を組み合わせる一つの診療科名にすることができる。

例：女性(C)乳腺(A)外科

②同じ区分の名称を複数組み合わせることは認められないので、名称を区切る工夫をして診療科名とする。

例：肝臓(A)・消化器(A)外科

③6「広告するために通常考えられる診療科名の例示」を調べると、①の例外がある。2つ以上の名称を組み合わせるには医学的な常識で判断するしかない。

例：異なる区分の名称であるのに「・」が入れてある診療科名

糖尿病(A)・代謝(B)内科、血液(A)・腫瘍(B)内科、老年(C)・呼吸器(A)内科。

## 5. 単独の診療科名であったが、今回から組み合わせの診療科名

心療内科、神経内科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、形成外科、美容外科、神経精神科。

## 6. 広告するために通常考えられる診療科名の例示 (広告ガイドラインの並び替え)

・下線の診療科名 (5 の診療科名) は、組み合わせれば診療科名として届出ることができる。

・太字は単独で標榜できる診療科名。

内科、心療内科、老年心療内科、神経内科、呼吸器内科、老年・呼吸器内科、気管食道内科、消化器内科、胃腸内科、循環器内科、内科 (循環器)、心臓内科、血液内科、腎臓内科、腎臓内科 (人工透析)、人工透析内科、内視鏡内科、消化器内科 (内視鏡)、糖尿病内科、代謝内科、糖尿病・

代謝内科、内分泌内科、脂質代謝内科、アレルギー疾患内科、内科（薬物療法）、漢方内科、老年内科、女性内科、新生児内科、感染症内科、内科（感染症）、性感染症内科、疼痛緩和内科、ペインクリニック内科、内科（ペインクリニック）、腫瘍内科（疼痛緩和）、血液・腫瘍内科、腫瘍内科、内科（骨髄移植）

外科、整形外科、ペインクリニック整形外科、脳神経外科、脳・血管外科、呼吸器外科、胸部外科、心臓血管外科、心臓外科、小児外科、形成外科、美容外科、頭頸部外科、気管食道外科、食道外科、乳腺外科、女性乳腺外科、消化器外科、胃外科、大腸外科、大腸・肛門外科、腹部外科、肝臓外科、脾臓外科、胆のう外科、肝臓・胆のう・脾臓外科、肛門外科、腫瘍外科、小児腫瘍外科、外科（がん）、移植外科、腎臓外科（臓器移植）、消化器・移植外科、内視鏡外科、外科（内視鏡）、移植・内視鏡外科、ペインクリニック外科

小児科、小児科（新生児）、精神科、児童精神科、老年精神科、神経精神科、アレルギー科、リウマチ科、産婦人科、産婦人科（生殖医療）、産科、婦人科、眼科、小児眼科、耳鼻いんこう科、小児耳鼻いんこう科、気管食道・耳鼻いんこう科、頭頸部・耳鼻いんこう科、皮膚科、小児皮膚科、美容皮膚科、美容皮膚科（漢方）、泌尿器科、男性泌尿器科、神経泌尿器科、小児泌尿器科、泌尿器科（不妊治療）、泌尿器科（人工透析）、リハビリテーション科、放射線科、腫瘍放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科

#### 6. 標榜が認められない不適切な組み合わせ

3月号に掲載したが、常識で考えても無理な例ばかりなので、省略。

#### ※ 最後に

4月から内科医で、糖尿病が専門の診療所は、「糖尿病内科」、「内科（糖尿病）」、「糖尿病・代謝内科」と三つの表示形式から選択することになる。糖尿病だけを取り上げて三つの診療科名があるので、今回の改定で耳慣れない診療科名が氾濫することになる。本当にこの改

正で、患者が自分の病状に合った適切な医療機関を選択できるかが疑問であると感じた。

#### 医療広告に掲載できる事項

厚生労働省:医療広告ガイドラインに関するQ & A（事例集）平成20年3月14日より引用

[www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/kokokukisei/qa.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/kokokukisei/qa.html)

##### \* 医療機関の名称Q5-2

- ・「標榜診療科名の見直し」の「患者に分かりやすい適切な名称」を医療機関の名称として使用することができる。

使用可能例：ペインクリニック、腎透析クリニック、女性クリニック

- ・不老不死病院、ナンバーワンホスピタル、無痛治療病院は使用できない。

##### \* 内覧会の実施Q2-2

開院前に医療機関の住民向けの説明会（いわゆる内覧会）の実施は広告できる。

- \* キャッチコピーや院長等のあいさつ文Q1-3  
「開院〇周年」等や「はじめまして」を使用したキャッチコピーやあいさつ文は広告できる。（広告可能な例）

- ・休日・夜間でも来院下さい。

- ・当院は、おかげさまで開院から20年を迎えることができました。これからも、当院のスタッフ一同努力しますので、よろしくお願いします。（病院長：〇〇 〇〇）

##### \* 「小児科医」や「外科医」の表現Q2-1

表題でなく、「医師の氏名（外科）」、「小児科の担当医」のように所属の診療科を記載することはできる。

##### \* 費用に関する事項Q2-8

費用を分かりやすく太字にするとか、下線を引くことはできるが、費用を広告の前面に打ち出してはいけない。

##### \* 「脳ドック」に関する事項Q2-5

「健康診査の実施」の一環として、「脳ドック」を広告することはできる。「脳ドック」とは患者でない人を対象にMRI、MRAの画像検査を実施すること。

##### \* インターネット上のバナー広告Q1-4

インターネットで医療広告の行政通知を遵守した広告に、医療機関のホームページにリンクするバナー広告を付けることはできる。

\* 新聞や雑誌の記事の引用 Q1-1

新聞や雑誌の記事に記載された内容が、医療広告の行政通知を遵守していれば、引用できる。

\* 雑誌の掲載記事「日本が誇る50病院の一覧」の引用 Q1-2

「日本が誇る50病院の一覧」は他の医療機関名と一緒に引用しても広告できない。

\* 「最新」という表現 Q2-8

「最新の治療法」や「最新の医療機器」の「最新」という表現は、広告できない。

\* 先進医療の事項 Q2-7

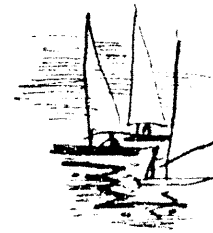
先進医療の届出をしていない医療機関は、自由診療で実施しても広告はできない。

\* 医師主導治験や医療機器の治験の事項 Q2-6

医師主導治験や医療機器の治験は広告できる。また、治験用医療機器の名称は国内外での販売名（商品名）でなければ広告できるし、治験用医療機器の写真は治験用に使用することを示せば広告できる。

\* 治療の効果に関する表現 Q2-3

「2週間で90%の患者で効果がみられます。」のような治療の効果に関する表現はできない。しかし、治療結果分析を実施しているとか治療結果分析の結果を提供していることは、広告できる。



# 機密文書の出張細断

細断された屑は、リサイクルで環境に優しく。



株式会社 -kaminosaidan.jp-

## 全日本医療サービス

〒501-1131 岐阜市黒野181番地の1 TEL 058-234-0388 FAX 058-234-5696

カルテ 心電図 処方箋 帳簿 従業員情報 個人情報